

議員提出議案第 1 号

「葛川水系河川整備計画」の早期実現を求める意見書の
提出について

上記の議案を、別紙のとおり二宮町議会会議規則第 13 条第 2 項の規定に
基づき提出する。

令和 2 年 1 月 2 4 日

二宮町議会議長 野 地 洋 正 殿

提出者	二宮町議会議員	善 波 宣 雄
賛成者	同	羽 根 か ほ る
同	同	松 崎 健
同	同	二 宮 節 子
同	同	杉 崎 俊 雄
同	同	坂 本 孝 也
同	同	小 笠 原 陶 子
同	同	露 木 佳 代
同	同	渡 辺 訓 任
同	同	大 沼 英 樹
同	同	前 田 憲 一 郎
同	同	根 岸 ゆ き 子
同	同	一 石 洋 子

「葛川水系河川整備計画」の早期実現を求める意見書

県は、「かながわ川づくり計画」の「都市河川重点整備計画（新セイフティリバー）」に基づき、平成 28 年 1 月に「葛川水系河川整備基本方針」を示したことに続き、平成 31 年 3 月に「葛川水系河川整備計画」を策定している。

しかし、計画期間は長期にわたるものであり、近年の台風や局所的大雨の頻度を考慮すれば、治水対策の重要性と緊急性は増したと捉えるべきである。当町では、平成 25 年 4 月に葛川が溢水し、被害が発生したことは記憶に新しく、さらに令和元年 12 月に示された洪水浸水想定区域図では、生涯学習センターや横浜地方法務局西湘二宮支局についても、浸水が想定されている。平成 25 年の溢水箇所は、県道と駅からの町道の交差する地点（生涯学習センター前）でもあり、周辺住民より家屋浸水被害の解決を求められており、また町の基幹道路として、緊急時の輸送路となる交通の確保は必須である。町民はもとより、住宅や公共施設、基幹路線の安全確保のため、早急な整備に着手していただきたく、下記の事項について要望する。

記

大雨時における住民、住宅、町施設、横浜地方法務局西湘二宮支局、県道 71 号（秦野二宮）を含む基幹道路などの安全確保のため、洪水浸水想定区域図において浸水の危険性が高い生涯学習センター（ラディアン）付近までの葛川の整備を早期に着手すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 2 年 1 月 24 日

提出先

神奈川県知事 黒岩祐治

神奈川県中郡二宮町議会議長 野地洋正